

綾瀬4万年の歴史を学ぶ

あやせ歴史めぐり ～市内文化財ゆうゆう探訪～

10月13日(土)10時～15時、市内の文化財を巡る「あやせ歴史めぐり～市内文化財ゆうゆう探訪～」を開催します(9時45分市役所正面玄関集合。荒天中止)。

目久尻川流域にある、小園橋、伊勢山遺跡、五社神社、宮久保遺跡、早川城跡、道場窪遺跡、済運寺、吉岡遺跡群、神崎遺跡の9か所の文化財を、市史跡ガイドボランティアの会による解説を聞きながら、マイクロバスで巡ります。

国や県に史跡指定された文化財が集まる目久尻川から、綾瀬4万年の歴史を学んでみませんか。昼食持参。定員20人(申込順。未就学児不可)。
9月18日9時から生涯学習課 ☎70・5637。
圖同課。



▲あやせウォークガイド表紙・内容

市内の文化財を紹介する冊子「あやせウォークガイド」の改訂版を発行します。A5判全32ページで、市内の文化財と、それらを散策する9コースを掲載しています。同ガイドを使い、現地を案内している市史跡ガイドボランティアの会と協働で、改訂作業を行いました。コースの一部を変更

し、目印や写真を追加するなど、現地を巡りやすくしています。さらに、文化財に親しんでもらうために、役立つ豆知識や指定文化財の詳しい解説も新たに掲載しました。10月1日(月)から、生涯学習課で無料配布します。
掲載した9コースは、いずれも半日程度で散策で

改訂版を発行 あやせウォークガイド

き、希望者には同会による案内も行います。文化に親しみやすい秋に、同ガイド

を携えて、市内の文化財を散策してみませんか。
圖同課 ☎70・5637。



12月16日(日)15時から、オーエンス文化会館で市制施行40周年を記念した、アヤセ・プロムナード・コンサート「第九」を開催します(14時30分開場)。
神奈川フィルハーモニー管弦楽団が、ベートーベンの作曲「交響曲第9番(合唱付き)」を演奏します。指揮者は北原幸男さん、ソリストはソプラノ小川里美さん、メゾソプラノ牧野真由美さん、テノール中鉢聡さ

オーケストラと歓喜の歌を体感 アヤセ・プロムナード・コンサート 「第九」

ん、バリトン川田直輝さんです。「第九」の合唱には、綾瀬・海老名・座間市民や団体などが参加します。オーケストラの本格的な演奏と、響き渡る歓喜の歌を体感してみませんか。
小学生以下は保護者同伴要、4歳未満は入場不可。全席指定。国県央三市芸術文化振興協議会。圖1000円。9月29日9時からオーエンス文化会館へ直接(9時～17時。毎週火・第3水曜日を除く。電話での予約不可)。
圖生涯学習課 ☎70・5670。

※この事業は、市町村振興宝くじ「サマージャンボ宝くじ」の収益金が充てられています

タイムスリップ

目久尻川流域の文化財

8月2日～21日、市役所7階市民展示ホールで、市制施行40周年記念事業の歴史展を開催しました。目久尻川流域に多く存在する遺跡や文化財を展示することで、市の歴史を振り返りました。

同展では、国指定史跡・神崎遺跡や県指定史跡・早川城跡をはじめ、道場窪遺跡の市内最大縄文土器や県指定重要文化財・吉岡遺跡群と用田鳥居前遺跡の石器群、徳川3代将軍の乳母、春日局ゆかりの茶臼・茶釜、奈良時代の物流を示す宮久保遺跡の木簡(レプリカ)を展示しました。

来場者からは「綾瀬にこんなに遺跡や文化財があるなんて知らなかった」と感想が多数寄せられました。

まだまだ知らない綾瀬があるかもしれません。身近な文化財に、目を向けてみてはいかがでしょうか。茶臼・茶釜は、9月30日まで市役所3階に展示しています。
圖生涯学習課 ☎70・5637。



▲歴史展の様子

あやせスポレポ!



卓球協会

圖阿部
☎090・4835・3933

まちかど特派員 澤田征二



市卓球協会の前身は、昭和28年に設立された綾瀬町の体育協会の中の専門部会として、陸上・野球部会などと同時に生まれました。その後、昭和51年に現在の「卓球協会」へ改称され、現在に至っています。
卓球は、他の多くのスポーツに比べて、プレーに必要なスペースや設備、用具などの負担が少なく、少ないメンバー数でも気楽に参加できます。体力や年齢、性別、経験に合わせて、いろいろな組み合わせで練習・対戦も可能です。これらが、現在まで活発に活動が続いている要因ではないでしょうか。



同協会は、社会人、高校生、中学生などで構成された団体や、クラブチームといった多くの団体で組織されていて、全体の登録人数は5000人を超えています。選手の育成にも力を入れています。綾瀬中女子、綾瀬中男子、城山中男子がそれぞれ全国大会で1～3位に入った事があります(年次は異なります)。市レディーズ卓球連盟の名称で、地域の女性たちも、地区ごとにチームを結成して活動しています。近所・顔見知りの人が集まるので練習や対戦、対抗戦ですから、気楽に参加できるのではないかと思います。

最近、多くの日本人卓球選手の活躍が新聞やテレビで紹介されています。協会主催の講習会をのぞいてみると、活躍に憧れてか、小学生が一生懸命な様子で練習していて、その小学生よりも少し年長の子が、専用の網でこぼれ球をすくってフォローしている姿があり、印象的でした。

